

今回は隣接する戸田かけはし高等特別支援学校の橋本晋一校長先生より特別寄稿をいただきました！

6月4日の開校式典において橋本校長先生が、英国の作家、チャーリー・マッケジーさんの絵本『ぼく モグラ キツネ 馬』という本を紹介しながらご挨拶されていました。

橋本校長先生に改めてこの本を紹介していただきます。

東京リベンジャーズ



私がおすすめするアニメは、『東京リベンジャーズ』です。不良だった主人公が中学時代へのタイムリープ能力に目覚めたことを機に、かつての恋人が殺害される運命を変えるべく元凶となる暴走族チームで成り上がる姿を描いたサスペンス作品です。

SF漫画やアクション漫画の要素もあって、面白いのでぜひ見てください！

※原作 週刊少年マガジン連載中

(担当：1-1 図書委員 ●●●●●)

ぼく モグラ キツネ 馬

チャーリー・マッケジー 著 川村元気 訳(2021) 飛鳥新社



戸田翔陽高等学校のみなさん、こんにちは。

過日の開校記念式典では大変お世話になりました。私たちは、今後も様々な場面で、みなさんの学校との交流を進めてまいりたいと思っています。これからもどうぞよろしく願いいたします。

さて、チャーリー・マッケジーの「ぼく モグラ キツネ 馬」という絵本は、最近とても話題の本です。私は、本の中からキラッと光る言葉を見つけるのが好きです。この本には、そんな言葉がたくさんちりばめられているのですが、式典ではその中から「ときには、ただ起きあがって前にすすむだけでも、ゆうかんですばらしい、という日もある。」という言葉を紹介しました。

誰でも、つらいこと、うまくいかないことがあると、あせったり、落ち込んだりします。そんな時は、自分を責めたり、叱咤、鼓舞したりするのではなく、そんな自身を認め、ゆっくりと回復を待ってから、再び歩き出してほしいという願いを込めて、全生徒に伝えました。

絵も素敵ですので、みなさんもぜひ読んでみてください。

(戸田かけはし高等特別支援学校 校長 橋本晋一)

『ぼく モグラ キツネ 馬』については本校の図書館にご用意できました！みなさんもぜひ読んでみてください。